

## 東明小学校グランドデザイン

### 学校の教育目標

豊かな心を持ち、未来を生き抜く、たくましい子供の育成

### 本年度の重点

なりたい自分を目指して、成長する子供の育成

### 学校運営方針

#### ○学びに向かう学校づくり

- ・基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るための指導の充実に努める。
- ・子供たちが、自ら問題を見付け、課題解決に向けて考え、多様な方法で追究していく問題発見、解決型学習を取り入れた学習過程を工夫する。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行い、子供たちが「分かるようになった」「できるようになった」「楽しい」と感じ、自分の成長を実感できるような授業の展開に努める。
- ・ICTを効果的に活用するとともに、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子供たちの個性を最大限に生かす「協働的な学び」の充実に努める。

#### ○チームとしての学校づくり

- ・子供の豊かな学びを実現するために教職員一人一人が自分の個性を生かし、持ち味を発揮して、指導や支援にあたる。
- ・特別な配慮を必要とする子供の指導にあたっては、子供の特性を見極め、専門スタッフや関係機関等と連携し、課題の解決・改善にあたる体制を整備する。
- ・毅然とした態度で組織的にいじめの未然防止や早期発見、対応に努める。
- ・ベテラン教員の指導力を生かし、キャリアステージに応じて若手教員研修や中堅教員研修等を積み重ね、指導力の向上に努める。

#### ○地域と共にある学校づくり

- ・積極的な情報提供や情報共有により、保護者や地域の方々と連携して教育活動を進め、信頼される開かれた学校づくりに努める。
- ・自然や地域社会の人々と触れ合う体験を積極的に取り入れる。
- ・教育活動を通して、子供たちにも社会の一員、地域の一員として貢献しようとする気持ちを育てる。
- ・学校創立50周年の記念行事を通して、地域の方々と共に学校への思いを育む。

### 目指す子供像とアクションプラン

考える子	やさしい子	たくましい子
○子供が問題意識をもって学習に取り組むことができるような授業づくりを工夫し、自分の考えを伝えようとする意識を高める。 ○話型や聞き型表を掲示・活用し、話したり聞いたりする力を高める。 (自分の考えを伝えることができる子供80%以上)	○自分が言われたりされたりしてうれしい「あったか言葉」や「あったか行動」について話し合い、日常的に活用できるようにする。 ○場に応じた挨拶の意義を教え、「東明小7つのあいさつ」の掲示等を通して目を合わせて挨拶することの定着を図る。 (目を合わせて挨拶をすることができる子供80%以上)	○特別活動や体育科、総合的な学習の時間等の取組を通して、健康な生活を実践することができる資質・能力を育成する。 ○目当てをもって運動に取り組む機会を設けるとともに、記録を蓄積することで、運動の習慣化を図る。 (目当てをもって運動に取り組む子供85%以上)